

第4号 南部箕蚊屋広域連合

まめ・カフェ通信

～第4回まめ・カフェ開催報告～

平成30年6月21日（木） 18:30～20:00

伯耆町農村環境改善センター 多目的ホール

参加者 45名（参加者 36名、スタッフ9名）

（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、理学療法士、作業療法士、介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員、管理者、生活相談員）

まめ・カフェとは??

医療や介護、地域に関わる私たちの仕事ってまめでなければつとまらない。

「まめなかや?（元気ですか）」と、こまめな声かけが関係づくりの第一歩!…多職種が気軽に集ってまめに話せる場所が欲しい☆という声からできたのが、まめ・カフェです♪

【 アンケート結果より 】(回収数 36)

まめ・カフェに参加していかがでしたか?

1. 大変良かった 10
2. よかった 26

『 他職種を知るためのごちゃまぜ多職種研修 (ロールプレイ) 』



2018 06 14



お茶代は皆さまからの募金で運営をさせていただいています。

持ち込みも自由にしています♪

お好きな飲み物を入れてテーブルにつき、お菓子も囲んでロールプレイとグループ・ディスカッションにご参加いただきました☆

包括支援センター職員よりロールプレイ進行の方法と事例紹介をしました。

今回は、『末期胃ガンで入院中の男性の病院でのカンファレンス』という場面をロールプレイしました。

ロールプレイでは、参加者の皆さまに自分の専門職以外の役を演じていただきました☆

《参加者の感想》

- ・他の職種を演じることで、自分の職種の重要性、役割を再確認できた。
- ・知らない情報を得ることができた。ロールプレイは客観的に考えることができてよかった。堅苦しくないこの会は、参加しやすくて良いと思います。
- ・他職種で集まり話が聞けて良かったです。特に医療系のサービスの方の話が聞けて参考になりました。
- ・内容は良かったと思うが、時間配分が気になった。
- ・プロフェッショナルとして、最前線におられる方々の日々の頑張りが伺えて、とても触発されました。
- ・ロールプレイで実際のカンファが家族の都合優先になっていることが多いと反省する。
- ・日頃の専門職の視点や感覚も、他の職種に的確に伝わる事や共通の認識を持てる努力が必要だと勉強になりました。
- ・ひとつの事例を通し、役を決め、カンファレンス形式を行い、困難な各々の出席者の気持ち(心)の葛藤など(本音と建て前)を感じました。
- ・ロールプレイをすることで、様々な視点から考えることができた。ソーシャルワーカー役で司会になり、各職種の意見を引き出すことの難しさを実感した。



【 今後の取り組みについて…ご意見、ご要望 】

- ・時間が中途半端になってしまった。もう少し余裕をもって話せると良い。
- ・実践に役立たないと思いました。
- ・歯科連携パス等のその他の制度について参加者に知ってもらう機会があっても良いのではないかと。
- ・看取りについて再度してほしい。
- ・困ったケースを相談したいです。
- ・普段はお会いできない他職種の方と顔の見える関係ができて良いと思います。
- ・このまめ・カフェが何を目指しているのか、多職種が集まるだけなのか、未来を語るのか。

アンケートにご記入いただいた内容の一部をご紹介します。ご協力ありがとうございました。今後の会の活動に繋がっていきたく思います。次回も、皆さまのご参加をお待ちしております！